



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 オープンワーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5139 URL <https://www.openwork.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 陽樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 広瀬 悠太郎 TEL 03-5962-7040
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,448	—	509	—	507	—	348	—
2022年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	65.81	65.00
2022年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社は2022年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の数値および2023年12月期第2四半期における対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	6,104	5,529	90.6
2022年12月期	5,129	4,667	91.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 5,529百万円 2022年12月期 4,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2023年12月期	0.00	0.00			
2023年12月期 (予想)			0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,550	25.2	820	34.1	820	38.9	565	40.2	106.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	5,322,490株	2022年12月期	5,142,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	48株	2022年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	5,294,960株	2022年12月期2Q	－株

(注) 当社は2022年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に移行したことにより、個人消費やインバウンド需要が回復傾向にあり、本格的な経済活動の正常化が現実感を増すとともに、日経平均株価が約33年振りとなる高値を更新するなど、社会経済全体において浮揚の機運が高まりました。一方で、引き続き不安定な国際情勢やサプライチェーンの混乱、緩和傾向にはあるものの長期化したインフレによる影響など、世界経済の先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中、国内の転職市場における転職者数は2023年1～3月平均で前年同期比113%と堅調に増加しました（注）。また、個人のキャリア観の変化や終身雇用の構造的限界により、今後雇用の流動化は一層加速し、働き方改革やリモートワークの普及により、多様な働き方が広がる中で、求職者の会社選びの基準も多様化していくと考えています。

「OpenWork」サービスにおいては、2023年6月末時点で約67,000社、約1,510万件の社員クチコミデータが掲載され、登録ユーザー数は約575万人となりました。また、「OpenWorkリクルーティング」サービスにおいては、2023年6月末時点で、契約社数（登録エージェント企業数含む）は約2,470社、累計Web履歴書登録数（社会人・学生）は約89万件となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の営業収益は1,448,957千円、一方で更なる成長に向けた認知拡大や採用強化のための投資により、営業費用は939,465千円、営業利益は509,491千円、経常利益は507,671千円、四半期純利益は348,451千円となりました。

なお、当社はワーキングデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、主なサービス別の業績については、以下のとおりです。

（OpenWork）

当第2四半期累計期間においては、自然検索経由でのサイト訪問数が増加したこと及び求職者の転職意欲回復に伴い提携顧客の集客意欲も回復したことで、会員課金数と提携企業への送客数が堅調に推移しました。この結果、当サービスの営業収益は543,848千円となりました。

（OpenWorkリクルーティング）

当第2四半期累計期間においては、自然検索経由でのサイト訪問数が増加したことに加え、マーケティングを強化したことで、新規Web履歴書登録数が増加し、累計Web履歴書登録数（社会人・学生）が約89万件まで増加しました。また、前事業年度に推進した既存顧客の活性化や求人数の増加等の取り組みの結果、求人企業・登録エージェント企業の採用活動が活性化し、当サービスの営業収益は887,315千円となりました。

（注）総務省「労働力調査 年齢階級別転職者数及び転職者比率」調査によると、1～3月期の転職者数は2022年262万人、2023年296万人

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は6,104,628千円となり、前事業年度末に比べ975,199千円増加しました。これは主に、株式の発行等により現金及び預金が869,277千円、主として「OpenWorkリクルーティング」の営業収益増加により売掛金が67,734千円増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債は575,549千円となり、前事業年度末に比べ113,696千円増加しました。これは主に、未払金が97,646千円増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は5,529,079千円となり、前事業年度末に比べ861,503千円増加しました。これは主に、株式の発行により資本金が256,656千円及び資本剰余金が256,656千円、四半期純利益の計上により利益剰余金が348,451千円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ869,277千円増加し、5,666,666千円になりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は382,443千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益506,933千円の計上、売上債権の増加額67,734千円及び法人税等の支払額161,957千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は19,207千円となりました。これは主に、事務所移転に伴う敷金の差入による支出14,024千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、506,041千円となりました。これは主に、株式の発行による収入452,088千円、上場関連費用の支出7,009千円によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期業績予想につきましては、直近に公表されている業績予想から修正はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,797,389	5,666,666
売掛金	202,371	270,105
前払費用	11,432	32,532
その他	3,952	936
流動資産合計	5,015,145	5,970,241
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	12,121	14,247
有形固定資産合計	12,121	14,247
投資その他の資産		
敷金	15,616	29,640
長期前払費用	—	1,876
繰延税金資産	86,546	88,624
投資その他の資産合計	102,162	120,140
固定資産合計	114,283	134,387
資産合計	5,129,429	6,104,628
負債の部		
流動負債		
未払金	95,758	193,405
未払費用	13,638	14,154
未払法人税等	181,002	177,349
契約負債	51,132	83,534
賞与引当金	54,064	49,384
役員賞与引当金	6,500	5,300
その他	59,756	52,419
流動負債合計	461,852	575,549
負債合計	461,852	575,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,376,340	1,632,996
資本剰余金	1,356,340	1,612,996
利益剰余金	1,934,896	2,283,348
自己株式	—	△261
株主資本合計	4,667,576	5,529,079
純資産合計	4,667,576	5,529,079
負債純資産合計	5,129,429	6,104,628

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	1,448,957
営業費用	939,465
営業利益	509,491
営業外収益	
受取利息	18
印税収入	1,663
営業外収益合計	1,682
営業外費用	
上場関連費用	3,501
その他	2
営業外費用合計	3,503
経常利益	507,671
特別損失	
固定資産除却損	738
特別損失合計	738
税引前四半期純利益	506,933
法人税、住民税及び事業税	160,558
法人税等調整額	△2,077
法人税等合計	158,481
四半期純利益	348,451

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	506,933
減価償却費	3,507
受取利息	△18
上場関連費用	3,501
固定資産除却損	738
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,680
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,200
売上債権の増減額 (△は増加)	△67,734
前払費用の増減額 (△は増加)	△21,100
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△1,876
未払金の増減額 (△は減少)	99,933
未払費用の増減額 (△は減少)	516
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△2,251
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,554
契約負債の増減額 (△は減少)	32,402
その他	2,267
小計	544,384
利息の受取額	16
法人税等の支払額	△161,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,183
敷金の差入による支出	△14,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	452,088
新株予約権の行使による株式の発行による収入	61,225
自己株式の取得による支出	△261
上場関連費用の支出	△7,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	506,041
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	869,277
現金及び現金同等物の期首残高	4,797,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,666,666

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2023年1月17日付の第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）による新株式156,000株の発行等により、当第2四半期累計期間において資本金が256,656千円、資本剰余金が256,656千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が1,632,996千円、資本剰余金が1,612,996千円となっています。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、ワーキングデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。